



Transportation

東京から	上越新幹線經由	約4時間
	富山空港	約40分
	小松空港	約1時間
名古屋から	特急	約3時間半
	富山空港	約40分
大阪から	特急	約3時間半
北海道から	富山空港	約1時間20分
車で	北陸自動車道砺波I.C.より	10分

見て、触れて、知って。

福野の魅力にもっと出逢いたい。

福野

ふくの観光ガイドブック

福野シティ開発株式会社 〒939-1576 富山県南砺市やかた324番地
 TEL.0763-22-6720 FAX.0763-22-6729
 URL <http://www.nanto-fukuno.com/> E-mail fukunocity@shokoren-toyama.or.jp

2010年3月発行



福野

FUKUNO
TOWN

静かに守り継がれた伝統と、
新しい文化の息吹が同居する、ふくの。
四季折々に彩る景色と、笑顔に包まれて、
訪れる旅人にとっておきの思い出を
残してくれます。

目次

P2~3	目次	
P4~8	祭り・イベント	
	はだか放水	菊まつり
	安居寺節分会	里いもまつり
	夜高祭	歳の大市
	スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド	
P9	ギャラリー“市の里”1号館~10号館	
P10~11	福野観光ガイドマップ	
P12	福野市街地アクセスマップ	
P13	◆寺院	
P13~18	安居寺	恩光寺
	安居寺周辺	善証寺
	西方寺	空泉寺
P19	◆神社	
P19~21	石武雄神社	
	福野神明社	
	江田桜木神社	
	石田立山社	
P22	◆史跡・他	
P22~26	福野高校巖浄閣	御馬の松跡
	田屋川原古戦場	寺家新屋敷古館跡
	石黒墳墓	福野中学校のしだれ桜
	野尻城跡	ツナギガヤの木
	柴田屋古館跡	田尻遺跡
	芝井川	
P27	◆旧家	
P27	富田邸 旧篠塚邸(檜亭)	
	小西邸	
P28	◆施設	
P28	福野文化創造センター	
	園芸植物園(フローラルパーク)	
P29~30	主な特産品	
	福野縞	
	里いも	
	スプレー菊	
P31	施設紹介(宿泊・公共施設など)	

祭り・イベント

◆ はだか放水 ほうすい 〈1月初旬〉

金沢市の松ヶ枝町分団から伝習した梯子登を、昭和25年の出初式から公開され、昭和40年からは、加賀鳶の勇壮な心意気を受け継いで、はだか放水にかわり、現在に至っている。

春



◆ 安居寺節分会 あんごじせつぶんかい 〈2月3日〉安居寺



節分会は安居寺の年中行事のひとつで、毎年2月3日に盛大に行われる。一年間の豊作を祈り、天候、数、方位などの縁起占も併せ行うこともあって、近郷近在からの参詣者で境内はあふれかえる。

◆ 夜高祭 よたかまつり

〈5月1日・2日〉市街地

21世紀へ残したい 富山100選

承応2年(1653)福野の氏神様として伊勢より御分霊を勧請した折、この御分霊の行列が俱利伽羅峠あたりに差しかけた頃日暮れとなり、これを知った町民が手に手に燈火用の行燈を持って太鼓を打ち鳴らしてこの行列をお迎えた。

以来毎年五月大祭には行燈を持って神明社に参詣するのが習慣となり、その後この行燈に意匠を加え競って大きいものを製作し、一時はその高さ12mにも及ぶ行燈を作りましたが、明治42年電話線の架設により、高さ6m50cmに制限され現在に至っている。

町内の若衆が勇壮活発に夜高節を歌いながら太鼓や拍子木のはやして町内を練り廻る様は、まさに、春宵の一大偉観である。



平成14年3月に、350周年を記念し関係者約140名が伊勢神宮へ崇敬参拝した。各町の田楽を神楽殿に奉納し、町内有志で複製した文久時代の大行燈を大鳥居前に配置した。



気高く彩られる 静と動の鼓動。

◆ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド

〈8月下旬〉

福野地域及び
福野文化創造センター

商工会青年部など福野の若者5団体が、広く世界に向けて、地域文化を発信したいという熱い思いで結成した「スキヤキ・ネットワーク」がスタートさせた福野の夏の一大イベント。コンセプトは、“ワールド・ミュージック”。世界各国の民族文化に出会い、ふれあうことで、そのすばらしい感動をエネルギーにしてもらうことを趣旨としている。

平成11年度より、商工会の「市の里ビック夏の2・7市」に合わせ、前夜祭を共同開催している。



【ビック夏の2・7市】

◆ 南^{きく}砺菊まつり

〈11月3日〜〉

フローラルパーク

秋の一大行事として毎年11月に、北陸三県の北陸菊花展と市の菊花大会を一堂に会した「南砺菊まつり」が福野地区で開催される。園芸が盛んな福野では、電照菊や新種



のオリジナルスプレー菊などの技術進歩が目ざましい。その一方で大輪菊の愛好者も多く、菊まつり会場となる園芸植物園（フローラルパーク）には色とりどりの菊花が展示される。期間中は多彩なイベントが目白押しで露店もズラリと並び、市全体が参加する祭りとなっている。

◆ 里いもまつり 〈11月23日〉福野体育館

「福野のごっつお」里芋を求め、毎年10,000人に迫る来場者で賑わう。人気の田楽や里いも汁を求める長蛇の列、舞台ではアトラクション、屋外での土産物販売など、年々充実度を増してきた。里芋の福野を広くアピールするとともに、住民のコミュニティのまつりとして親しまれている。昭和61年まちおこし事業から始まった。



秋

冬

とし おおいち 歳の大市

21世紀へ残したい 富山100選

(12月27日) 中心商店街



慶安3年(1650)の町立とと共に、2と7のつく日に市が許されて以来360年、朝市は4月から12月まで続けられ、毎年最後の12月27日には、「歳の大市」が開かれている。その日は、うすやきねをはじめ正月用品、野菜、鮮魚、切花など200余りの店が道路一杯に並び、終日近郷近在の多くの人で賑わう。土地の風土に育かれた「市」には、「土の香り」と素朴な人情が感じられ、福野町の年末の風物詩となっている。



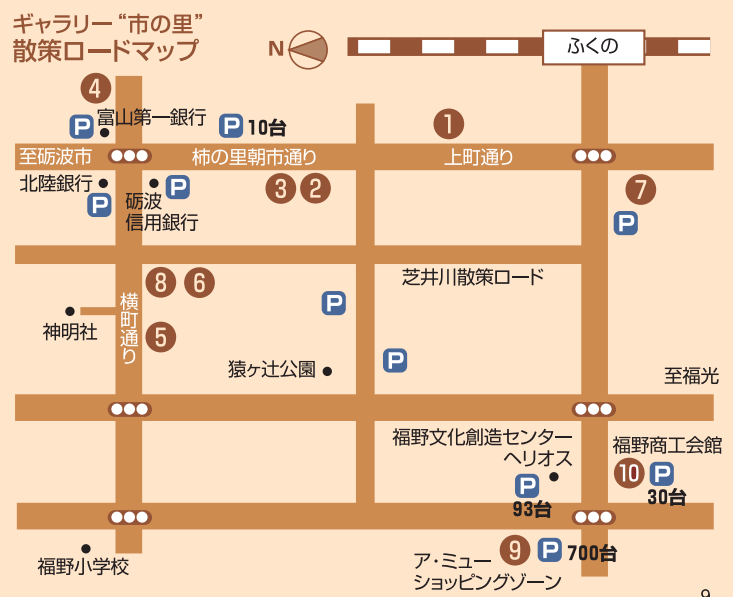
【朝市の風景】

守り伝えられた「市」の歴史にちなみ、まちおこし事業によって人が集まり催しが楽しい「市の里」としてますます盛んになっている。

ギャラリー“市の里”

福野の商店街には空き店舗を利用した楽しいギャラリーがたくさんあります。芸術・文化のまちづくりを推進し、中心商店街の賑わいを創出しています。

- 1 ギャラリー“市の里”1号館
福野1535 TEL.0763-22-8701
- 2 ギャラリー“市の里”2号館
福野1608 TEL.0763-22-8702
- 3 ギャラリー“市の里”3号館 ふれあいサロン
福野1611 TEL.0763-22-8703
- 4 ギャラリー“市の里”4号館「櫻亭」
福野1328-1 TEL.0763-22-2874
- 5 ギャラリー“市の里”5号館「kichi-ya」
福野1655 TEL.0763-22-8705
- 6 ギャラリー“市の里”6号館「蔵」
福野1644 TEL.0763-22-8706
- 7 ギャラリー“市の里”7号館「花工房くらぶ」
松原新1550 TEL.0763-22-2003
- 8 ギャラリー“市の里”8号館「ほっこり空間」
福野1644 TEL.090-8266-5483
- 9 ギャラリー“市の里”9号館「ア・ミュージニギャラリー」
寺家新屋敷366 TEL.0763-22-1400
- 10 ギャラリー“市の里”10号館「商工会ギャラリー」
やかた324 TEL.0763-22-2536



きままに、わがままに、
いい旅が見つかる。
ふくの

福野観光ガイドマップ

地図上の番号は各施設名の番号とリンクしています。



福野を起点にちょっと足をのばして!

おすすめツアー

保存版

1 日帰りコース (癒しと芸術・文化に触れる旅)

古名家 榎亭(9:00~9:30発) ▶ 福野高校蔵浄閣(9:40~10:10発)
▶ ギャラリー市の里1号館~10号館・喜知屋(10:20~12:00発) ▶ 昼食
▶ 南砺市園芸植物園(フローラルパーク)(13:00~13:40発)
▶ 安居寺・法話(13:50~15:30発)

2 1泊コース

●1日目(癒しと芸術・文化に触れる旅)
古名家 榎亭(10:00~10:30発) ▶ 福野高校蔵浄閣(10:40~11:10発)
▶ ギャラリー市の里1号館~10号館・喜知屋(11:20~13:00発) ▶ 昼食
▶ 南砺市園芸植物園(フローラルパーク)(14:00~14:40発)
▶ 安居寺・法話(14:50~17:00発) ▶ 宿泊

●2日目(創造の楽しみと感動の旅)
井波木彫りの里・木彫体験(9:00~11:30発) ▶ 昼食
▶ 瑞泉寺(12:50~13:20発) ▶ 井口橋館(13:30~14:00発) ▶ 昼食
▶ 城端織館・織り体験(14:20~6:00発) ▶ 城端善徳寺(16:10~16:30発)

3 2泊コース その1

●1日目(癒しと芸術・文化に触れる旅)
古名家 榎亭(10:00~10:30発) ▶ 福野高校蔵浄閣(10:40~11:10発)
▶ ギャラリー市の里1号館~10号館・喜知屋(11:20~13:00発) ▶ 昼食
▶ 南砺市園芸植物園(フローラルパーク)(14:00~14:40発)
▶ 安居寺・法話(14:50~17:00発) ▶ 宿泊

●2日目(創造の楽しみと感動の旅)
井波木彫りの里・木彫体験(9:00~12:00発) ▶ 昼食
▶ 瑞泉寺(12:50~13:30発) ▶ 井口橋館(13:40~14:20発)
▶ 福光愛染園(14:50~15:30発) ▶ 高德寺(15:40~16:20発) ▶ 宿泊

●3日目(世界遺産と伝統文化に触れる旅)
世界遺産五箇山・和紙漉き体験(9:00~13:00発) ▶ 昼食
▶ 城端織館・織り体験(13:30~15:00発)
▶ 城端善徳寺(15:10~15:40発)

4 2泊コース その2

ゴルフ三昧の旅(宿泊場所の福野からいづれも車で10分)

- 1日目 トナミロイヤルゴルフクラブ 18ホール
- 2日目 千羽平ゴルフクラブ 36ホール
- 3日目 ゴールドウィンゴルフクラブ 18ホール



3泊して立山黒部アルペンルート・石川兼六園に行っていたら最高です。

寺院

1 弥勤山能勝院 安居寺

南砺市安居4941 TEL(0763)22-2462

21世紀に残したい富山100選



当寺は現在、高野山金剛峯寺を本山とする高野山真言宗に属しているが、その草創は古く、養老2年(718)天竺の高僧、善無畏三蔵(ぜんむいさんそう)が釈迦如来御作の観音像を安置した草庵を営み、安居

(あんど…修行の一つ)を修めたことにはじまると伝えている。

天平時代には聖武天皇が勅願所と定められ、平安時代には花山法皇が、中世には兼好法師や宗祇法師がその風光を愛し巡錫されたという。最盛期には24坊もの堂舎を備えた大寺であったが、その後、戦国の争乱の兵火によりすべてを焼失し、わずかに一字をかまえ法灯を維持してきたものと思われ、藩政時代には加賀藩前田家の祈願所としてその外護により寺観が整えられ、歴代藩主は数多くの宝物等を寄進している。また、観音堂は藩の重臣岡島備中守夫人・月清大姉の建立であったが、現在の建物は、明和3年(1766)に、仁王門は明和9年(1772)に再建された。旧仁王像は慶長20年(1615)の胎内銘を持つなど、中世以降の秀れた作品が多く残されている。

現在は霊験あらたかな観音様の寺として全国からの参拝者が後を絶たず旧国宝(国重文)の本尊正観音立像をはじめ、県指定文化財には前立ち聖観音立像、地主地藏半跏像、見返り阿弥陀像、絵馬、古灯籠があり、古文書等町指定の文化財も数多く残されている。

やさしさとしあわせと…観音様

添護摩…簡便に護摩祈祷に参加するため、目的の願いが記された添護摩木に住所、氏名、年齢を書き、護摩の火にくべるものである。

読経祈願…読経の功德により、諸願成就を祈願するもの。

おみくじ…霊験あらたかな観世音のお授けによるもので運勢一般と、霊草の二種がある。

◆ 年中行事

- 毎月18日……………観音講御縁日
 1月1日・2日・3日……………初詣
 1月28日……………火伏祈禱
 2月節分の日……………節分会
 2月15日……………涅槃会
 3月21日……………弘法大師正御影供
 5月8日……………仏生会（花祭り）
 6月18日……………祠堂経（土砂加持大般若転読法会）
 8月9日……………四万六千日
 8月15日……………施餓鬼会

- ◆ **本尊正観音立像** ほんぞんせいこんのりつぞう
 国指定重要文化財
 非公開（旧国宝）
 法身は97cmの一木造りで、寺伝によると、
 釈尊自ら梅檀の木に一刀三礼して彫られ、
 御母摩耶夫人追善と衆生済度の願いを
 込められたという。持ち物の蓮華を見つ
 めた、物柔らかな慈愛あふれる像である。

- ◆ **前立ち正観音立像** まえだちせいこんのりつぞう
 県指定文化財
 非公開
 木彫一木造り。両手・両足は寄木造りで
 彩色はなく、総丈64cm、鎌倉初期の写生
 風な作品で秘仏本尊の特長をよく現わし、
 この時代に於ける秀作である。

- ◆ **地主地藏半跏像** ぢぬしじぞうはんかぞう
 県指定文化財
 非公開
 石造りの一石彫り出し、裳懸座となってい
 て、右手に宝珠を取り左手に錫杖を取る
 総丈49cmの小品で、鎌倉期に当山の最
 盛期への復古の意味で彫られたものと考
 えられる。

- ◆ **見返り阿弥陀像** みかえあみだぞう
 県指定文化財
 御首を曲げ左後方を振り返った御姿の
 全国でも珍しい阿弥陀像で室町期の作。
 当時盛んであった時宗の徒の信仰対象
 であったと考えられる。

- ◆ **安居寺の絵馬** あんごじえま
 県指定文化財
 聚楽第の鏡戸三枚を奉納額としたもので、
 狩野元信永徳の筆と伝えられている。
 元和8年（1622）前田利家の寄進。他に慶
 長年間在銘の武者絵額二枚（町指定文
 化財）も残されている。

- ◆ **慶長4年在銘石灯笼** けいちようねんざいめいししどうろう
 （県指定文化財）
 慶長4年（1599）の銘があり県内在銘最古
 の灯笼で、大陸から伝えられたものといわ
 れ加賀藩の重臣岡島備中守の寄進。

- ◆ **安居寺古仁王立像** あんごじふるにおうりつぞう
 2体
 （町指定文化財）
 総丈約3.3m
 安居寺本堂前の山門にある。慶長20年
 （1615）摂津阿摩崎右近阿部大工徳兵衛
 尉の作である。

- ◆ **安居寺鰐口** あんごじおにぐち
 万治元年（1658）に既存の鰐口が盗難に
 遭ったため万治2年（1659）新たに寄進さ
 れたものである。現存する在銘の高岡鑄
 物として最古の鉄製鑄造品である。

- ◆ **安居寺古文書** あんごじこもんじょ
 75点
 （町指定文化財）
 安居寺は江戸時代には加賀藩祈願所とし
 て藩主や重臣たちの信仰が厚く、三代藩
 主利常の「寺領寄進状」をはじめとして貴
 重な古文書が所蔵されている。

- ◆ **安居寺仁王門** あんごじにおうもん
 間口3間、奥行2間、楼門造りの棧瓦ぶきで、
 仁王像が安置してある。寛文2年（1662）の
 棟札には、大工今石動の大村新左衛門正
 広、同じ棟大工向田彦四郎の名がみられる。

- ◆ **安居寺のいしぶみ**
 安居寺公園遊歩道にほぼ沿う様に西国
 三十三箇所のお観音霊場にちなんだ観音
 菩薩像が立てられている。現在の物は大
 正2年に再建されたもので壱番は如意輪
 観音（青岸渡寺）。

① **伝長慶天皇御陵**
でんちやうけいてんのうごりやう
 (町指定文化財)
 安居4921 安居寺

一辺約2m、高さ1mの方形墳墓で、頂上に五輪塔が残る。長慶天皇が元中8年(1391)3月18日、この地で亡くなられたと伝えられている。

① **地蔵林**
じぞうばやし
 (町指定文化財)
 安居4733 安居寺

安居寺発祥の地と伝え、県指定文化財の地主地藏半跏像が安置されていたところである。

④ **安居地区出土品数十個**
やすいちくしゅつどひん
 (町指定文化財)
 柴田屋151

旧安居小学校のあった南隣りに続く段丘を中心に縄文時代から古墳時代を経て、中世に至るまでの各種の遺物が発見されている。

② **三本松**
さんぽんまつ
 (町指定文化財)
 安居510

安居地区の南端、津沢一福光間の県道沿いにある。安居寺に伝わる江戸時代中頃の絵図に一里塚と記されている。また、安居寺が兵火にかかったときの米倉の灰



を集めて築いた塚で、米塚とも云う。近年まで塚上に三本の松の大木があり、福野町と福光町の境界の目印となっていた。

① **アベマキ林**
 (町指定文化財)
 安居寺公園一帯
 安居寺

安居寺裏山に混生する。一名ワタクヌギ。皮部からコルクがとれる。主として山陽方面に自生する。

③ **西方寺**
さいほうじ
 福野1543番地(上町) [真宗本願寺派]

応安元年(1368)、江州(滋賀県)の人で在覚の弟子慶西がはじめたと伝える。寺は初め蓑谷村(城端町)にあったが、のちに城端の野下町に移った。明治9年(1876)9月、西本願寺菅長大谷光尊が初めて西方寺に巡教し帰敬式を行った。先代慶成は東京帝国大学を卒業、町で最初の文学士であった。県下にさががけ授眼蔵図書館をつくり、また日用学校や貴和少年団などの社会事業に貢献した。

④ **恩光寺**
おんこうじ
 福野(浦町)1803 [曹洞宗]

開基は応永10年(1403)あるいは15年ともいわれている。新川郡眼目(上市町)立川寺の末寺ではじめ霊応山恩光寺といったが、いまは金剛山恩光寺ととなえている。天正のはじめ(1573-)長尾為景の兵火にかかった後、約百年間も無住時代が続いた。福野の町立ての翌々年に大火があり阿曾三右衛門翁は承応2年(1653)庄金剛寺村より恩光寺を福野へ移した。秋葉大権現も同時に勧請された。毎年9月8日に秋葉祭りが行われ火渡りの行事はいまに続いている。

④ **恩光寺山門**
おんこうじさんもん
 (町指定文化財)
 福野(浦町)1803 恩光寺



承応2年(1653)、恩光寺が庄金剛寺村より移転したときに、ともに移築したと伝えている。

④ **モチの木**
 (町指定文化財)

恩光寺の後庭にあり、樹高約10m、樹周2.35m。雌雄別株の樹木で、この地方では稀な大木である。

5 善証寺
高掘232
[真宗大谷派]



開祖は江州の定善といい、のち蓮如上人に従って北陸に下ったといわれている。文明5年(1473)の創建。この定善と蓮如上人の法名真証院に因んで善証寺と名づけたという。その後、三代浄念が石山合戦のおり門徒宗75人を率いて参加した。その時教如上人より笠緒の御書を受けた。文明5年(1473)高掘に移り野村山善証寺といった。

善証寺金堂聖観世音菩薩立像(町指定文化財)

6 空泉寺
石田151
[真宗本願寺派]

開基は安達良教で康応元年(1389)の創建、寛永12年(1635)3月、空泉寺の寺号を受けたと伝える。奥州安達ヶ原より移ったので姓を安達という。良教は出家して高野山に登り、真言宗の学者となったが、のち綽如に帰依して真宗の門に入り、井波瑞泉寺付近に一寺を建てて天正9年(1581)まで居住していた。同年佐々成政に攻められて瑞泉寺は北野に移り、空泉寺は石田に移ったと伝える。

神社

6 石武雄神社
野尻711



石武雄神をまつる国史見在社で、三代実録・大日本史・越中式内等旧社記などによると、元慶3年(879)10月従五位下の神階が授けられたが見える。

この付近は岩武野といわれ、野尻郷内29カ村の総社であ

あった。神号と地名一致していることを見てもそのおこりの古いことがわかる。縁起によると、天承元年(1131)信州水内郡野尻の郷土河合典膳の子河合五郎・六郎の兄弟が生国の守護神である熊野三神の霊夢によって越中岩武雄に移り、熊野三神を合わせまつて社殿をつくった。その故郷にちなんで野尻郷と称し、産土神として崇ばれた。古くは石武雄神社といい神仏習合の時代には岩武三社権現、また熊野三社権現ともいわれた。明治初年の神仏分離によってもとの神社名になったという。

嘉永6年(1853)神社付近に「綽如上人の旧跡」と記した石碑が建てられた。戦国時代に一向一揆や上杉軍の乱入で社運が衰えたが、徳川時代に泰平の世になってからは次第に栄えた。古くから神仏習合の例によって33年毎の開扉大祭がいまも行われており、文政3年(1820)には5月10日から16日まで行った記録がある。

河合氏は代々この神社に奉仕し、文禄4年(1595)、真言宗修験場となり、正徳4年(1714)瑞東山法厳寺の寺号を受け、明治元年に神職となった。

また神社の背面に河合氏の先祖五郎・六郎の塚がある。

ふくの しんめいしゃ
7 福野神明社

祭神は天照皇大神・豊受大神・大己貴神。慶安5年(1652)に町が大火でほとんど焼けたとき、神仏の加護を求めて町の有力者たちが伊勢大神宮の御分霊を迎えたといわれる。正徳5年(1715)に改築された記録がある。

33年目の延享4年(1747)に建てなおされたが、文政13年(1830)に再び社殿が改築され天保3年に落成した。

5月例大祭は1日が前夜祭(宵祭り)、2日が例祭、3日は神輿の渡御祭(巡幸)が行われて、2日と3日にお供えする神饌に熟饌(調理した煮物)の方法が用いられている。

境内神社に天満宮と稲荷社がある。天満宮の創立は明らかでないが菅原道真公をまつる。

稲荷社は倉稲魂神をまつり、天保15年(1844)6月、五穀豊穰の社として、当社に奉仕していた野尻の法巖寺が寄進したものである。その後、社殿はもと共楽園(いま西上町)の敷地に移ったが、明治31年またもとの境内に移された。神社に奉仕する神職は古くから野尻の河合家であったが、昭和2年より柴田屋の長岡家加わった。

拝殿の正面に掲げてある土佐絵は、もと紙本六曲屏風を額面としたもので、慶長・元和の頃の風俗を描き、作者は岩佐又兵衛と伝えられているが明らかでない。

享和元年(180)、福野御蔵街(町)氏子連中が奉納したもので明治24年(1891)に修繕した。県指定文化財である。曳き山と屋台はいまも残っているが、屋台のひきまわしはない。曳き山は四組あって、横町は人形の飾り山で猩々の波み酒、上町は船形に神功皇后の西征航海、新町は橋弁慶、浦町は素盞鳴尊の大蛇退治である。



えだざくらぎじんじや
◆ 江田桜木神社
江田153



祭神は猿田彦神。御神体はむかし旅川の洪水のおり柳の木にかかっていたのを村人が拾って祀ったという。宝暦9年の書き上げ帳には高瀬権現となっているのは、このゆかりがあったのであろう。

明治初年(1868)ごろいまの地に移した。

いしだたてやましや
◆ 石田立山社
石田153

祭神は伊邪那岐命(いざなぎのみこと)。もと旅川縁の宮寺1409番地にあり、のちいまの地に移ったといわれる。明治42年(1909)に旅川縁にあった東石田の立山社(狭場90番地)合祀、そのとき社殿が改築された。



史跡・他

◆ 史跡、他

8 **福野高校巖浄閣** (旧富山県立農学校本館) **21世紀に残したい富山100選**
(国指定重要文化財) 苗島443



明治36年4月、富山県立農学校校舎として砺波市太田出身の宮大工藤井助之丞により設計施工された。

木造の和洋折衷二階建てで床が高く、片側廊下式の明治期を代表する洋風建築物であり、昭和62年「富山の建築百選」に選定された。コロニアルスタイルの細い板を段が付くように重ねた下見板張りペンキ塗り、上げ下げ窓の西洋建築のデザインを基本としている。正面玄関開き戸の上は当時としては珍しい半円形の欄間となっている。玄関ポーチの上にはギリシャ風飾り窓を伴ったベランダを配置し二階屋根中央には半円の屋根をのせた特徴あるゲートルが置かれ、全体的に中央部に装飾がまとめられている。

昭和41年本校舎が全面改築されるにあたり明治以来の代表的な学校建築物として永久保存のため昭和43年現地に移築された。

平成9年5月29日、本建築物は国重要文化財(建第2335号)に指定された。

明治時代の地方の大工棟梁が独自に洋風の意匠を摂取し習熟した様子を示す典型的な建造物として貴重である。

現在学校沿革資料の展示、グループ学習等の場として利用されている。

た や か わ ら こ せんじょう
◆ **田屋川原古戦場**
(町指定文化財)
田屋255ほか

文明13年(1481)春に起きた越中一向一揆の主戦場跡である。福光城主石黒光義率いる瑞泉寺討伐軍とこれを迎え撃った瑞泉寺一向宗衆徒とが、田屋の山田川河原一帯で戦い瑞泉寺側が大勝したという。さらに一向衆徒は野尻城主を降伏させるなどして砺波郡全域を戦力下においた、と伝えている。

い し ぐ ろ ふ ん ぼ
◆ **石黒墳墓**
約40基
(町指定文化財)
安居字口



文明13年(1481)、田屋川原の戦いに敗れた石黒左近光義主従16人が自刃して、葬られたと伝えている。

の じ り じょうあと
◆ **野尻城跡**
(町指定文化財)
野尻850ほか
徳仁寺ほか

平安時代末期、源平争乱のころから記録に名がみえる野尻氏の本拠地。文明13年(1481)、一向一揆のために滅んだ。城跡は現在の徳仁寺を中心に180×160mの広さがあったとされる。



しば た や ふるやかたあと
10 柴田屋古館跡
 (町指定文化財)
 柴田屋271
 柴田屋日吉社

戦国時代の永禄年間(1560ころ)、柴田丹後守久光の居館跡と伝える。現在は日吉社境内となっている。



しば い がわ
11 芝井川

今から360余年前、加賀藩から町立て(福野に)の許可はおりたが、昔の庄川の跡地だったので一面の荒地であった。地下水が深く水の無いところで、畑作しか出来なかった。そこで高儀屋佐次兵衛が五十石の新田を開きたいと再度藩に願い出、許されて松原新村用水の水を引いたのが、“芝井川”である。

これは、低地(西北⇔高岡方面)から高地(東南⇔五箇山方面)へ流れる用水である。

出来た往時、この水は薬になると言われて遠くからも水を汲みに来た、と伝えられて福野の名所歌にも唄われたりもした。川沿いが恩光寺、本福寺等々の門前道として発展して、詩人野口雨情作『福野小唄』に、「芝井川から白粉流し、浮いて流れて……黒いお色も白くなる」とも唄う、三絃の音絶えぬ繁華街となり、町道1号となったといわれている。

昭和の中頃までは生活用水としてだけでなく泳いだり、魚取りも出来、夏には蚩狩りと、人々の生活に密着した川であった。現在は暗渠化されて、レストラン等に名をとどめるのみとなっている。

お め まつあと
12 御馬の松趾
 (町指定文化財)
 横町206

承応3年(1654) 駅次伝馬が福野に置かれたとき柴田屋・二日町の各村から1年交代で福野詰伝馬をここに夫役した。この地、猿ヶ辻島の二本の松に御馬を繋いで飲うたといわれている。

天保8年(1837) 正月、町の中心から二松までの間で商売を営む者に町名唱え方を許された。そしてこの松が町と村との境の標示となり、夜高行灯の歌の中に御馬の端御馬の松よ、とうたわれた。松は昭和41年流雪溝工事の際に伐採され、その幹の一部が町に保存されて、昔の面影を留めている。

樹齢135年 樹高21m50cm

じ け あら や しきふるやかたあと
13 寺家新屋敷古館跡
 (町指定文化財)
 やかた231ほか
 ・寺家新屋敷神明社

寺家新屋敷神明社を中心に、東西80m、南北50mの規模であった。現在は土塁の一部が残る。南北朝(14世紀ころ)の越中国守護を勤めた桃井播磨守直常の家臣で、田中権左衛門貞行の館跡と伝えられている。

14 福野中学校のしだれ桜
 御蔵町1339

学び舎の生き証人として旧福野小学校時代から生徒たちを見守り続けてきた。(当初4本あったが現在は1本のみ) 卒業生でもある町内在住の梅島くにをさんが会長を務める「福野へちま句会」は、2000年4月16日、この桜の下で句会を開催した。

◆ ツナギガヤの木

〈町指定文化財〉 田尻282 養口浩太郎

樹高3m、推定樹齢約400年。古い枝から新しい枝が反転したように生じ、枝をつないだように見えるので「ツナギ」の名がある。また、引法大師が数珠につないだ実を1つはずし、お手植えになったからともいう。この実には小さな穴があり、数珠玉のようであることから大師に因縁づけられたものであろう。

◆ 田尻遺跡

田尻

山田川と大井川にはさまれた位置にあり、縄文時代後期、平安～江戸時代にかけての遺跡である。平成元年～3年にかけて、東海北陸自動車道の建設区間の調査が行われた。

縄文時代の遺跡は現在の地表から1メートルほど下にあり、南砺スーパー農道付近に広がっている。この地点からは、土器のほかにも炉跡も発掘され、縄文人の生活域が、平野部に移っていたことが注目される。発掘された土器は、縄文時代後期後半（約3000年前）、富山・石川県では「井口式」と呼ばれる、近畿地方の影響を強く受けた土器で縄文をまったく付けないものも多い。土器には、大小の深鉢のほか、浅鉢、注口土器など種類が豊富である。



旧家

◆ 15 富田邸

安居188

初代富田斉官は、天文18年（1549年）桶狭間の戦いで織田信長に仕え、以降数代に渡り度々手柄を立て、柴田勝家、豊臣秀吉に奉公した。元和元年（1615年）大阪夏の陣にて大阪城落城の折り、越中国の現在の地に罷下る。

現存する建物は、大正13年から約5年かけて井波の松井角平により建てられ、本邸は、間口11間半、奥行9間の2階建て入り母屋造り、平入本瓦葺きの母屋と土蔵門構えを持つ。24畳の大広間や庭の見事さなど最盛期草高千石を有した大地主の邸宅の姿をよく伝えている。

◆ 16 小西邸

上町1617

上町通りに在り。明治末から大正にかけ贅を尽くした町屋が多く建てられたが、それ等の代表的建屋である。

玄関に入って、先ず目にする三階への吹き抜けの白壁と漆塗りの太い梁組みの重厚さに圧倒される。それから二階へ続く階段は螺旋状階段であり、その斬新さにも目を見張らされる。明治45年6月17日に祝詞を上げ、6月25日に石勝ち（石突き）を行い、大正2年に出来上がった。



施設

17 福野文化創造センター(ヘリオス)

やかた100 (0763) 22-1125 (火曜日休館)

福野町合併50周年を記念して平成3年3月3日にオープン。

せり舞台を備えた円形劇場ヘリオスを中心に、図書館、各種



学習室、展示ホール、茶室等複合した文化総合施設。

重厚で斬新な建築はそれ事態が芸術作品といえるが、加えて各企業等のご厚志と富山県ゆかりの作家のご協力により多くの美術品を展示、所蔵している。また、夜高祭大行燈も常設。生涯学習の拠点として幅広く活用されている。

18 南砺市園芸植物園(フローラルパーク)

柴田屋128 (0763) 22-8711 (火曜日休館)

南砺市園芸植物園フローラルパークは、「植物に関する文化情報の発信」をキーワードに、訪れる人が花や緑を、身近かに楽しめるようさまざまな機能を備えている。

キク科植物を一堂に集めた展示温室と、スプレーギクや食用菊など花きの育成や研究を行うほ場や温室などによって構成されている。また、野外においても紅葉ゾーンやどんぐりゾーン、小鳥を呼ぶゾーンなど特



色ある4つのゾーンから構成され、訪れる人の憩いの空間づくりを演出している。このほか、最新式の大型液晶ビジョンや植物に関する図書も備え、幅広く学習・体験できる施設となっている。

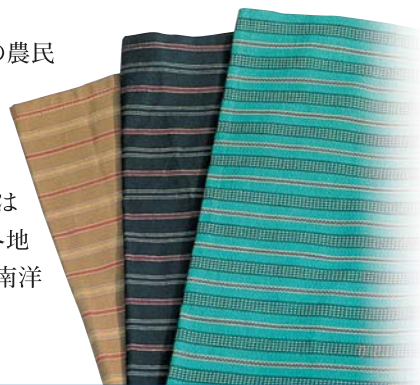
主な特産品

ふくのじま 19 福野縞

福野では藩政の初め頃から絹と布の生産、集荷が盛んであった。やがて木綿織が主流を占めるようになり寺嶋屋源四郎の努力により、江戸時代も後期の文政年間には棧留縞(さんとめじま)という木綿の縞織物が織られるようになった。

このころ福野の町人や近在の農民の間では、自家用のものが織られ機織りの技術はかなり普及していたと考えられる。

明治から大正にかけ福野縞は大きく生産量を伸ばし、日本各地はもとより遠くは中国、朝鮮、南洋方面まで普及した。



20 里いも



里芋出荷組合

〈事務局〉
となみ野農業協同組合福野営農センター
tel.0763(22)3018・fax.0763(22)4327

富山県福野における「里いも」の歴史は古く、享保5年(1720年)加賀藩より芋種が譲渡され、栽培がはじまったとのことである。排水良好で肥沃な庄川の沖積土壌であるこの地に適応し、特産物として加賀藩に上納された。昭和47年には、国の産地指定を受け、やわらかく、粘りがあり、甘味のある「里いも」として広く好まれている。

◆ 福野の伝統料理

福野にはおもてなしのための、さまざまな伝統料理があります。レシピ集もありますので、福野観光協会までお気軽にお問合せください。また、地酒の「よいやさ」「菊の詩」「市の里」や、福野オリジナルネクタイも好評です。



福野ロージーサンライズ

◆ スプレー菊

南砺市園芸植物園（フローラルパーク）では、スプレー菊の品種改良を行い毎年新しい品種が育成されており苗の販売もしています。現在たくさんの福野オリジナルスプレー菊があります。



福野ロイヤルパール



福野アザローゼ



福野ファイバーボード



福野アブリコット

[購入申込] 南砺市園芸植物園

〒939-1552 富山県南砺市柴田屋128
tel.0763 (22) 8711・fax.0763 (22) 8741
HP… <http://florarpark.city.nanto.toyama.jp/>

◆ 施設紹介

◆ 宿泊施設

ニチマ倶楽部ア・ミュー (福野タウンホテル株式会社)	☎0120 (22) 1489
ビジネスホテル エフ・ワン	☎0120 (54) 7474
佐々木旅館(ビジネスホテル福野)	☎0763 (22) 2543
ビジネスホテル 村上	☎0763 (22) 2377
ビジネスホテルASAHI一番館	☎0763 (22) 7070

◆ 公共施設など

南砺市役所	☎0763 (23) 2003
福野行政センター	☎0763 (22) 1101
南砺市商工会福野支所	☎0763 (22) 2536
福野観光協会	☎0763 (22) 8700
JR福野駅	☎0763 (22) 2655
福野交通(タクシー)	☎0120 (01) 2144
福野交番	☎0763 (22) 2019
急患医療センター	☎0763 (22) 2299
観光案内所まちの駅「まちi」	☎0763 (22) 8707

古くから市場町として栄えた 活気ある福野の街を、
私たちがさわやかにご案内します！▶



[福野] 観光ボランティア市の里ガイド

〈受付時間〉月～金曜日 8:30～17:30 〈料金〉無料 〈施設入場料〉利用者負担 **【要予約】**
お問い合わせ

福野観光協会 〒939-1576 富山県南砺市やかた324番地
TEL.0763-22-8700 FAX.0763-22-8707
URL <http://www.12.ocn.ne.jp/~fukuno/> E-mail fukunokankou@forest.ocn.ne.jp